

第6回 北区新庁舎新築基本設計専門家会議 概要

- 日時 令和8年5月1日（金） 16:00～17:30
- 場所 TIC王子ビル3階 作業室
- 次第
 - 1 開会
 - 2 議事
 - (1) 新庁舎新築基本設計検討会の設置について
 - (2) 検討会における検討項目について
 - 3 閉会

●会議概要

1 開会

2 議事

(1) 新庁舎新築基本設計検討会の設置について

○事務局より検討会設置について説明。

- ・先進的な事例を基に、業務の生産性を上げていく空間づくりを前提に執務空間、建築を設計することを重視すべきではないか。それにより、北区が将来的に良い人材を獲得し、より良い職場環境を築いていくもの考える。
- ・これまでにない空間を創り上げていくことも重要な考え。建築費との調整や区民理解も必要となると思うが、元のコンセプトを保持しつつ、計画を進めてほしい。

(2) 検討会における検討項目について

○事務局より検討会の検討項目について説明。

- ・庁舎は大きなシティーホールであり、街の象徴である。建築コストの削減を図ることも大事だが、価値のある建築を作らなければならない役割があるということを理解すべき。
- ・検討会の進め方と設計の進め方は、大きく異なるため注意が必要。検討会で決まった事項を設計に反映をしても、他の項目で再度検討が必要になる可能性もありうる。検討会参加者が決定事項に対し納得し、進めていくことが重要である。
- ・庁舎の運営面での効率化と計画をセットで考える必要があると感じる。また、ZEBは初期投資と竣工後のランニングを考慮し検討すべきである。
- ・庁舎建築の本質を知った上で検討会を進めないと方向性を失うと考える。区民や、担当者ではない参加者は建築の情報が専門家、技術者に対して少ないため、格差が生まれてしまう。格差を埋めるために事前説明が必要であり、議論が本題から外れてしまう危険性があるため注意すること。
- ・設計者は設計意図を伝え、すべてを無くすのではなく、本質を見極めたうえで重要なものは残すべき。価値の大小を精査し、より良いものを設計すべき。

○事務局より今年度の検討会の大きなスケジュールについて説明。建設地の土地取時期及び開庁時期

についても説明。

- ・設計の本質を中心に区民へ説明することが大事。
- ・庁舎の価値、計画建物の価値をしっかりと理解してもらい、区民に応援してもらえるような雰囲気が醸成できると良い。
- ・3回の検討会のなかで、会を重ねるごとに具体化していく方針が良いのでは。
- ・検討会は設計の根本を理解する会だと感じている。また、区民に対しては設計意図を理解してもらえるような会を実施したほうが良いと思う。
- ・北区新庁舎は、これまでの区役所のような事務的な手続きだけの場所に留まらず、人々の出会いの場としての役割も担う、より良い空間になると考える。区民に対しては、庁舎整備に関心を持ち、自主的にイベントなどに参加してもらう雰囲気が醸成できれば良いと思う。
- ・本計画は北区だけの問題ではなく、我が国の庁舎建築全体の先進的な事例になる役割を担っているプロジェクトである。

3 閉会